

神戸ワイン×FC BASARA 兵庫 オフィシャルパートナー契約後 初の共創企画「ぶどう収穫体験」を開催

白鶴酒造株式会社が運営する神戸ワインは、2026 年 4 月 1 日にオフィシャルパートナー契約を締結した FC BASARA HYOGO との初の共創企画として、2026 年 9 月 13 日（日）に神戸ワイナリー（神戸市西区）があるこうべアグリパーク内の圃場で「ぶどう収穫体験」を開催しました。



本イベントには、FC BASARA HYOGO ジュニアチームの子どもたちとその保護者、クラブスタッフ、白鶴酒造社員あわせて 43 名が参加しました。当日は晴天に恵まれ、参加者は神戸ワインの原料となるワイン用ぶどう「カベルネ・ソーヴィニヨン」の収穫作業を体験し、約 460kg を収穫しました。収穫したぶどうは、神戸ワインの原料として使用される予定です。

神戸ワインと FC BASARA HYOGO は、同じ神戸市西区を拠点として活動しています。本イベントは、スポーツと地域産業の連携を通じて地域活性化に貢献するとともに、参加者の皆さまに地域の魅力を体感していただくことを目的に開催しました。子どもたちは収穫体験を通じて、地域でワインづくりが行われていることや、ぶどう栽培を支える農業への理解を深めました。

神戸ワイン事業部長の安元康一郎は、「ワイン用ぶどうの収穫体験を通して、子どもたちに、この西区でワインやぶどうジュースがつけられていることを知ってもらい、地域の農業やものづくりへの関心を広げていってほしい」と話しました。

参加した小学 2 年生の男の子は、「ぶどうをハサミで切って収穫するのが楽しかったです。ぶどうジュースも甘くておいしかったです」と笑顔で話してくれました。また保護者からは、「収穫体験は想像以上に大変でしたが、その分、商品になるまでに多くの手間がかかっていることを実感できました。収穫後にいただいたジュースやワインも、よりおいしく感じられました」との感想が寄せられました。

神戸ワインは、FC BASARA HYOGO とともに今後も地域に根差した取り組みを通じて、神戸市西区の魅力発信と地域活性化に貢献してまいります。

■イベント概要

日時 2026 年 9 月 13 日（日）9:30～12:30
場所 こうべアグリパーク内 神戸ワイナリー圃場（神戸市西区）
内容 ぶどうの収穫体験、昼食（神戸ワインのテイastingとぶどうジュース付）
参加者 FC BASARA HYOGO ジュニアチームの子どもおよび保護者 39 名
クラブスタッフ 2 名
白鶴酒造社員 2 名（計 43 名）
収穫品種 カベルネ・ソーヴィニヨン
収穫量 約 460kg

■FC BASARA HYOGO

一般社団法人 Meister が運営する、兵庫県神戸市西区を拠点に活動しているサッカークラブ。小学生から社会人まで、全カテゴリーのチームを保有しており、社会人チームは関西サッカーリーグ Division1 に所属。

2024 シーズンからは同社の理事を務める元サッカー日本代表 岡崎慎司が監督就任。2025 年度から「5 年以内に J リーグ参入」を公言しており、セレッソ大阪から清水圭介など、J1 選手を獲得するなど補強にも注力している。

また、ドイツ 6 部にも FC Basara Mainz というクラブを保有。日本人が海外でチャレンジできる環境作りにも注力し、日本とドイツ間で、BASARA の選手や指導者が移籍できるなど、世界で戦う人材育成も魅力の一つ。名実ともに兵庫県を代表するクラブとして活動中。

FC BASARA HYOGO 公式サイト : <https://www.fc-basara-hyogo.net/>

